

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

日脚伸ぶ立春の候、貴社におかれましては、ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。昨年から続いておりますコロナウィルスの流行ですが、今年の1月8日から2月7日まで1都3県に「緊急事態宣言」が再度発令されました。山梨県の対応では県のホームページにて(山梨県/新型コロナウイルス感染症に関する県の取り組み状況 (pref.jp))確認できますのでご確認ください。今は自分たちに来ることを行って行きたいと思っております。今回はSUS関係にてお知らせいたします。 塚原

<編集者>
塚原 佳由
望月 博隆
小林 龍也
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平



鋼種 Q & A ~SUSについて~

ステンレスの特徴としては錆びにくい事が有名ですが、一般的によく使われているステンレスと言えばニッケル含有量が8%のSUS304が思い当たります。ステンレスについてはVOL38にてお伝えしておりますが、ステンレスに使われている添加材料がどのようなものかを下記に表示致します。

ステンレスの添加元素の種類→C Si Mn P S Ni Cr Mo Cu

炭素 (C) 炭素量を増やすと機械的性質が高くなりますが、耐食性が低下し脆くなります。
ケイ素 (Si) シリコンとも呼ばれています。耐酸化性が増しますが多量するとじん性が低下します
マンガン (Mn) 耐摩耗性や強度が高くなり添加元素としての利用が多い元素となっております。
リン (P) 硫黄 (S) と同じく切削性が向上しますが、使用量が多くなると脆くなります。
ニッケル (Ni) ステンレスと言えばニッケルのイメージがありますが、錆の発生を抑える効果は無く進行を遅らせる効果があります。耐熱性がありクロムと合わせることで耐食性が高まります。
クロム (Cr) ステンレスにとってはおよそ11%以上含むことが定義となっている元素です。耐摩耗性、耐食性、耐熱性を高め、金属の表面に薄い酸化膜を形成する事で錆びにくくしています。
モリブデン (Mo) 耐食性の改善、熱間強度や耐酸性などが高くなります。
銅 (Cu) 大気中や海水中での耐食性や耐酸性をニッケルと合わせることで効果が倍増します。
SUSはそれぞれ下3桁の数字で種類が分別されています。おおまかに分類すると、SUS304などの300番台で表示されているのが「オーステナイト系」、SUS430などの400番台で表示されているのが「フェライト系」もしくは「マルテンサイト系」に分類されています。「オーステナイト系」とか「フェライト系」を簡単に説明をすれば、入っている主要元素の種類の違いで変わります。
300番台はクロムとニッケルが入っているので(Cr-Ni系)オーステナイト系ステンレス鋼・・・
400番台はクロムのみが入っているので(Cr系)フェライト系および(炭素が少ない)マルテンサイト系ステンレス鋼となっております。



★社長のワンポイント★ 昨今の今頃は中国の春節で多くの訪日中国人の方々が日本国内に観光にやってきましたと同時に、翌月にはコロナウィルスの対応に世界が動き出し、数ヶ月後には緊急事態宣言という流れで月日が過ぎ、丁度一年経過し、変異株の影響も英国、アフリカ、米国と国内では隣県の静岡県から発見されたとのことで今後どのような感染がなされていくのか不安の中、ワクチン接種の時期もいよいよ工程表が政府から発表され、5月頃には老人中心に接種されていくとの見通しで一般の方々には夏以降秋頃ではないかと予想される方もおられます。東京オリンピック2020も開催が不明確、米国大統領選も終わり、ジョー・バイデン大統領となり経済は勿論、民主主義の体制をどのようにたてていくのか、また世界経済という部分米国だけの日本が、どのような形で大市場の中国と密接に関わっていくのか、不安材料ばかりです。半導体市場も自動車産業も少し上向いている状況の部分、やはりコロナウィルスの影響で市場に出回る資金が減少し、贅沢製品の買え控えが懸念されております。2021年も節分が過ぎると更に厳しい環境に向かう感が予想されますが、アフターコロナの対応でDX対応で市場にしっかり伝えられる仕組みの構築、営業サイドのプローチの仕方、業務改善等々新たな取り組みを行う計画を練っております。現在、生産現場では試みとして、B to BからB to Cへの取組を行っております。是非、多くのご支援頂きながら更なる進化成長を行って参ります。54期しっかり御客様にご提案できるように満身創痍で全社一丸でまいりますので今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

★国中エリア 塚原★ コロナウィルスも段々落ち着き始めていますが、日々の手洗いというがいは習慣にして下さい。1月の国中状況ですが、半導体関係は昨年の後半から少しずつ動き始め、2次下請け企業様にも仕事が回り始めています。3月、4月分の動きが良く分かりません。車関係では、プレスの稼働率も上がってきており忙しく動いている企業様もあります。プレーキ関係の企業様では某車メーカーのGr企業様と合併するとの話も聞いています。トラック関係は今年から生産数を上げて行くようですが、現状大きな動きは見えていません。切削メーカーでは変わりないようですが、今年の動き方次第では良くなっていくと思っております。世界での動きも大きく変わる1年だと言われていると思います。出来ることをしっかり行って行きたいと思っております。

★郡内エリア 望月★ コロナウィルスですが、GoogleのAIの調査で日本は今の4倍に酷くなると予想していました。不要な外出は避けて下さい。1月の郡内の状況ですが、半導体関係では機械装置によってひらきがあり、仕事量がかなり違いが出ております。自動車関係では先月同様に稼働をキープしており生産数が徐々に増加傾向です。工作機械関係では1社が好調で3月まで予定がありますが、4月からはまだ未定です。他のメーカーでは依然として厳しい状況が続いております。その他の製造業では12月同様に厳しいのが現状です。良い所が目立ちますが、12月と比べて少し動きがある感じがしました。ただ、新規の仕事ではなく「よそがやめた」とか環境が変わり仕事きたと言ったことです。半導体部品(自動車系)の不足が噂になっておりますが、大手会社が12月に火事になり生産がストップしたそうです。今後の動向に注意して情報を集めて参りたいと思っております。

★上野原エリア 山田★ 緊急事態宣言が発令されており、徐々にではありますが感染者の数も減少傾向のような気もします。少しでも早く終息出来る様に、出来る事をしていきたいと思っております。さて1月の動向ですが、半導体関係が昨年未だりから増加傾向になっていたのですが、部署によっての差が大きくなってきています。同じ半導体関係でも東北方面では忙しく稼働しているとの話も聞いております。エコーやトラックなども依然として厳しい状況で、半導体関係部品の調達に間に合わず生産ラインの調整などが出て来ているようです。また、試作関係も、再度発出された緊急事態宣言により先送りになった案件も出て来ているようです。東京、神奈川、埼玉方面でも同じような状況で、依然として仕事の取り合い、見積りも合戦が激しくなっているようです。この先もどのような状況になっていくのか不安も有りますが、情報を集めていきたいと思っております。